

伊平屋空港の パブリック・インボルブメント（ステップ1）

実施記録



平成18年12月
伊平屋空港協議会
[沖縄県・伊平屋村・伊是名村]

パブリック・インボルブメントとは
(Public Involvement)

「市民参画」または「住民参画」と訳されます。公共事業の施策を立案する過程で地元住民などから幅広く意見を募り、計画決定に活かしていく手法です。

はじめに

伊平屋村・伊是名村は沖縄本島那覇市の北、約100kmに位置する離島村です。沖縄本島と両村を結ぶ主な交通手段は、運天港との間に両村が運航しているフェリーが担っています。しかし現在の船舶交通では、那覇市までの移動に4時間を要するほか、荒天によるフェリーの欠航により、住民生活に多大な支障をきたしています。

そのため両村では、本土復帰当時から沖縄県等に対して空港整備に向けた要請活動を行っており、沖縄県においても、離島における生活利便性の向上と観光や産業振興の観点から、同地域における空港整備の検討が行なわれてきました。

伊平屋空港協議会では、伊平屋空港の整備にあたって、計画の段階から県民等に対して積極的に情報を提供し、広く意見を収集するなどの住民参画の手法（パブリックインボルブメント：PI）を取り入れ、皆様のご意見を伺いながら検討を進めることにしています。

伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（PI）は、2段階のステップに分けて実施することとしており、今回、伊平屋空港整備の必要性、空港整備による効果や影響、候補地及び航空旅客数の予測などについてとりまとめた「伊平屋空港の調査報告書1」を基にPI（ステップ1）を実施いたしました。

本資料は、伊平屋空港PI評価委員会の評価、助言を受けてのPI（ステップ1）の実施状況や実施結果を取りまとめたものです。

平成18年12月
伊平屋空港協議会

－ 総 目 次 －

I	パブリック・インボルブメント（ステップ1）実施状況と結果の概要.....	I-1
II	伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ1）実施報告書.....	II-1
III	伊平屋空港P I 評価委員会のからの主な評価・助言.....	III-1
IV	伊平屋空港P I（ステップ1）の終了について.....	IV-1

I. パブリック・インボルブメント（ステップ1） 実施状況と結果の概要



1 パブリック・インボルブメント（P I）の実施について

伊平屋空港協議会は、伊平屋空港の整備の必要性等に係る情報を共有し、伊平屋・伊是名村民等の方々の考え方を把握することを目的としてP I（ステップ1）を実施いたしました。その実施状況と結果の概要は以下に示すとおりです。

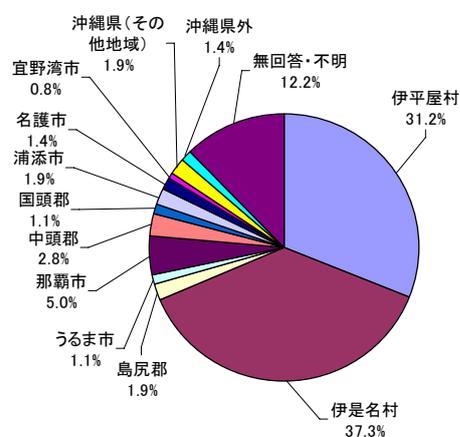
2 P I（ステップ1）の実施状況の概要

平成18年8月1日～8月31日の期間中、P I（ステップ1）における情報提供を実施いたしました。（「伊平屋空港の調査報告書1」の配布：3,477部、地元説明会及びパネル展示会の開催）また、上記期間中、提供した情報に対するアンケート、意見募集を行いました。

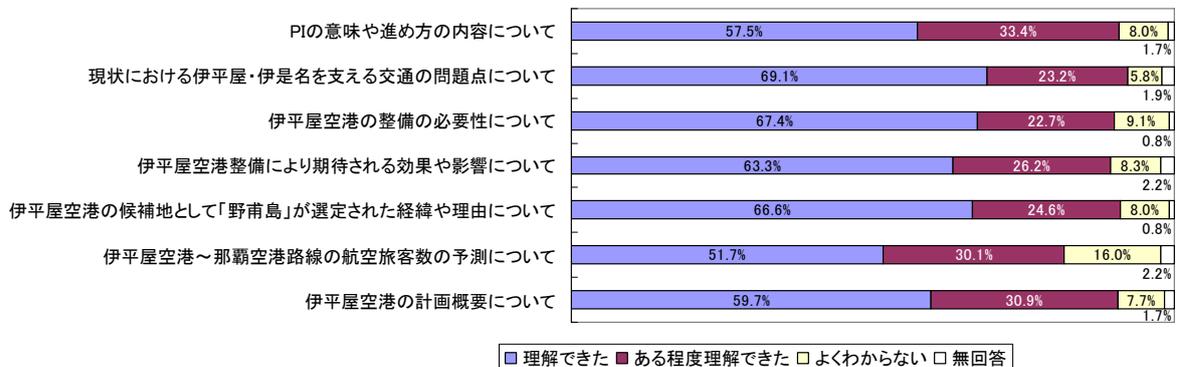
3 アンケート結果の概要

- 性別、年齢、職業に偏りなく、幅広い層からアンケートに対する回答(362件)が得られ、8割以上の方々が、「伊平屋空港の調査報告書1」の全ての項目について「理解できた」または「ある程度理解できた」と回答されています。
- 回答者の居住地の内訳では、伊平屋・伊是名両村に居住する方々の割合が全体の約7割を占め、約2割が沖縄県内他地域、県外者は1.4%でした。

＜アンケート回答者居住地分布＞



＜「伊平屋空港の調査報告書1」に関する理解度＞



4 P I（ステップ1）実施結果の評価について

伊平屋空港協議会は、P I（ステップ1）の実施状況やアンケート結果について、P Iの実施が多くの方々に周知され、理解されたか、さらには寄せられたご意見に対する対応が明確に示しているかといった点から評価いたしました。

評価の結果、P I（ステップ1）の目的とした「伊平屋空港の整備の必要性等に係る情報を共有し、村民等の方々の考え方を把握できる状態に達すること」は達成できたと判断いたしました。また、第三者機関である伊平屋空港のP I評価委員会からも、評価結果について概ね妥当であるとのことをご意見をいただきました。

次頁にP I（ステップ1）に寄せられたご意見とご意見への対応方針を示します。

5 寄せられたご意見と対応方針

アンケートで自由回答欄に回答された方々（237名）の意見を、その内容により分割した結果、意見の総数は318件でした。寄せられたご意見の内容とご意見に対する対応方針は以下に示すとおりです。

＜寄せられたご意見の内容と対応方針＞

意見総数：318件

意見			意見に対する対応
分類	件数	意見の内容	
PIの取り組みに関する意見	18件	調査報告書に関する意見	今後、調査報告書等により情報提供を行う場合においては、必要な情報をわかりやすく取りまとめるようにつとめて参ります。
	13件	PIの進め方に関する意見	
31件 (10%)			
空港整備の必要性に関する意見	132件	空港整備が必要又は賛成という意見	伊平屋・伊是名地域における島外への交通手段は、本島北部の運天港に就航するフェリーが利用されており、過去の旅客アンケートでは、利用者の約7割が本島中南部を目的地・出発地としているという結果が得られています。しかし現状では那覇までの移動に陸上の移動時間も含めて約4時間を要することや、荒天によるフェリーの欠航が多いため、住民生活や経済活動を行う上で大きな支障となっています。このような状況を改善し、民生の安定向上及び観光産業等の地域振興を図るため、伊平屋空港の整備は必要であると考えております。 また、予測される需要の規模から、小型機やヘリコプターではなく、数十名乗りの航空機の就航が可能な規模の空港整備が必要であると考えております。 今後、PI(ステップ2)を実施する場合においては、費用対効果の分析等、空港計画の妥当性について情報提供していく予定であります。
	20件	空港整備は不要又は反対という意見	
	5件	必要性について疑問又は今後も充分な検討が必要という意見	
157件 (49%)			
空港整備による効果や影響に関する意見	40件	空港整備による効果を期待する意見	過去に実施されたアンケート調査等において、地域の活性化や利便性の向上等、空港整備による効果を期待する声寄せられています。今後、PI(ステップ2)を実施する場合においては、費用対効果分析、空港計画の妥当性等について情報提供していく予定であります。
	12件	空港整備による効果を疑問視する意見	
	14件	空港整備による影響を心配する意見	
66件 (21%)			
空港の候補地に関する意見	6件	野甫島案に関する意見	伊平屋島は、狭小な地域に賀陽山(標高294 ^米)等の標高200m以上の山岳が連なっており、急峻な地形が大部分を占めております。また、限られた平地部は、集落や主要産業である農業の用地として利用されています。一方野甫島は、高い場所でも標高40メートル程度で、比較的なだらかな丘陵地となっており、伊平屋島とは橋梁で繋がっています。 伊平屋空港の候補地は、このような地形特性や土地利用状況、航空機の安全運航の観点から選出した前泊地先、島尻地先、野甫島の3案について空港へのアクセス、工事土量、概算工事費、自然環境等の条件を比較検討した結果、総合的に優位である野甫島を候補地としたものであります。 野甫島は、伊是名島からも近い位置にあるため、今後空港計画を進める場合は、伊是名村からの利用者の利便性向上方策について検討して参ります。
	1件	他の候補地を提案する意見(伊是名の場外離着陸場を改良整備)	
7件 (2%)			
需要予測に関する意見	9件	航空運賃の設定や採算性に関する意見	航空需要予測で設定した運賃は、県内で実際に就航している離島航空路線の運賃を参考に設定しております。
	19件	予測結果に関する意見	
28件 (9%)			
空港計画に関する意見	4件	計画内容をもっと詳細に知りたいという意見	計画内容については、PI(ステップ2)を実施する場合において、情報提供して参ります。
	5件	伊平屋・伊是名両村間の架橋整備等のアクセス利便性向上を要望する意見	
9件 (3%)			
その他の意見、要望	9件	地元及び利用者負担の軽減と利用促進方策を要望する意見	いただいたご意見を踏まえ、今後計画を進める場合においては、空港利用の促進及び効率的な運航の実施について検討して参ります。
	11件	その他	
20件 (6%)			

Ⅱ. 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ1） 実施報告書



－ 実施報告書 目次 －

1	P I 活動（ステップ1）の実施状況と評価	11-1
1-1	P I 活動（ステップ1）の実施状況	11-1
	(1) P I 活動（ステップ1）の実施対象者	11-1
	(2) P I 活動（ステップ1）の実施計画	11-2
	(3) P I 活動（ステップ1）の実施状況	11-3
1-2	P I 活動（ステップ1）の評価	11-5
	(1) 評価方法	11-5
	1) 評価の対象	11-5
	2) 評価の視点	11-5
	3) 評価方法	11-6
	(2) 活動の評価	11-7
	1) P I 活動は適切に行われたか	11-7
	2) P I の実施が周知されたか	11-9
	3) 提供した情報が理解されたか	11-12
	4) 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか	11-15
	(3) まとめ	11-21
	1) 視点毎のP I 活動の評価	11-21
	2) P I 活動の総合評価	11-21
	3) 今後の課題	11-21
2	P I（ステップ1）の活動結果概要	11-22
2-1	周知・広報	11-22
	(1) 行政広報誌への記事掲載	11-22
	(2) 新聞への記事掲載	11-24
	(3) テレビ放送	11-25
	(4) ポスター掲示	11-26
	(5) ホームページへの情報掲載	11-28
2-2	情報提供・意見収集	11-29
	(1) 調査報告書の配布	11-29
	(2) パネル展示	11-31
	(3) 説明会	11-32

1 P I 活動（ステップ1）の実施状況と評価

1-1 P I 活動（ステップ1）の実施状況

- P I 実施計画にもとづき、1ヶ月間（平成18年8月1日～8月31日）、ステップ1における情報提供・意見収集を実施した。
- これらの活動に先駆け、行政広報誌への記事掲載やポスター掲示、ホームページによりP I 開始の周知・広報を実施した。

(1) P I 活動（ステップ1）の実施対象者

- 伊平屋・伊是名村民
- 地元関係団体
- 沖縄県民
- 伊平屋空港に関心を有する個人及び団体

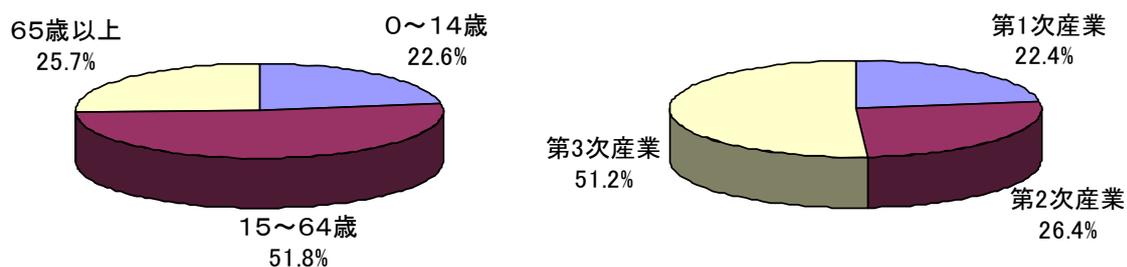
図表 1 伊平屋・伊是名村の人口及び世帯数

単位：人、世帯

区 分	平成17年3月31日現在	
	人 口	世 帯 数
伊平屋村	1,547	557
伊是名村	1,841	801
伊平屋村+伊是名村 計	3,388	1,358
沖縄県 計	1,372,388	511,942

資料：住民基本台帳（平成17年3月31日現在）

図表 2 年齢階級別人口比率・産業別就業者人口比率（伊平屋村・伊是名村）



(2) P I 活動（ステップ1）の実施計画

平成18年5月に策定された「伊平屋空港のパブリック・インボルブメント実施計画書」（以下「PI 実施計画書」という）におけるP I 活動の実施計画内容は図表3に示すとおりである。

図表3 P I 活動（ステップ1）の実施計画（伊平屋空港のP I 実施計画書）

手法	内容	主要な対象者			
		伊平屋・伊是名村民	地元関係団体	沖縄県民	県外の個人・団体
周知・広報	(1)行政広報誌への記事掲載	●	●	●	
	(2)ポスターの掲示	●	●	●	
	(3)ホームページへの情報掲載	●	●	●	●
情報提供	(4)調査報告書の配布	●	●	●	
	(5)パネル展示	●	●	●	
	(6)ホームページへの情報掲載	●	●	●	●
	(7)説明会の実施	●	●		
意見収集	(8)ハガキによる意見収集	●	●	●	
	(9)ホームページ、インターネットメールによる意見収集	●	●	●	●

(3) P I 活動（ステップ1）の実施状況

伊平屋空港のP I 活動（ステップ1）の実施状況は図表 4 に示すとおりである。

図表 4 P I 活動（ステップ1）の実施状況

1/2

手法	内容		「PI実施計画書」 との対比	
周知・ 広報	(1)行政広報誌への記事掲載	3誌・3回	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県広報誌「美ら島沖縄」(8月号) ○伊平屋村広報誌「広報いへや」(7月号) ○伊是名村広報誌「広報いぜな」(7月号) 	計画通り実施
	(2)ポスターの掲示	124枚掲示 掲示期間:7/18～	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県、伊平屋村、伊是名村等 の行政関係公共施設 :70枚 ○港ターミナル等公共施設 :12枚 ○伊平屋村、伊是名村関係団体施設等 :32枚 ○説明会会場 :5枚 ○航空会社(RAC) :5枚 	計画通り実施
	(3)ホームページへの情報掲載	掲載期間:7/18～7/31	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県土木建築部空港課ホームページに掲載 ○伊平屋村・伊是名村ホームページに掲載 ○上記はPI活動終了時まで継続して掲載 	計画通り実施
	(4)マスコミへの情報提供	1回	○定例記者懇談会において新聞社、テレビ局等へ説明(7/25)	追加実施
	(5)地元の防災無線による放送	随時(説明会開催案内)	○伊平屋村 ○伊是名村	追加実施

手法	内容		「PI実施計画書」 との対比	
情報提供・意見収集	(6)調査報告書の配布	3,477部	○沖縄県、伊平屋村、伊是名村等の行政関係公共施設 :1,267部 ○港ターミナル等公共施設 :600部 ○伊平屋村、伊是名村関係団体等 :1,522部 ○説明会時配布 :88部	計画通り実施
	(7)パネル展示	7ヶ所 (延べ35日)	○沖縄県庁1階県民ホール :7/31～8/4 ○運天港 伊是名フェリー発券所 :7/31～8/4 ○前泊港 旅客ターミナル :8/7～8/11 ○仲田港 旅客ターミナル :8/7～8/11 ○伊平屋村役場 :8/14～8/18 ○伊是名村役場 :8/14～8/18 ○運天港 伊平屋フェリー発券所 :8/21～8/25	計画通り実施
	(8)ホームページへの情報掲載	掲載期間:8/1～8/31	○沖縄県土木建築部空港課ホームページに掲載 ○伊平屋村・伊是名村ホームページに掲載 ○上記はPI活動終了時まで継続して掲載	計画通り実施
	(9)説明会の実施	2ヶ所・2回	○伊平屋村離島振興総合センター :8/14 ○伊是名村産業支援センター :8/15 ※当初8/9、8/10の両日に実施する予定であったが、台風の影響により上記日程に変更となった。	計画通り実施
	(10)意見収集	収集期間:8/1～8/31	○ハガキ(郵送)による意見収集 :281件 ○ホームページから意見収集 :3件 ○説明会時に意見収集 :78件 アンケート回答件数 計 :362件 ※アンケート回答者数のうち、 自由意見回答者数:237名(意見数:318件)	計画通り実施

1-2 P I 活動（ステップ1）の評価

(1) 評価方法

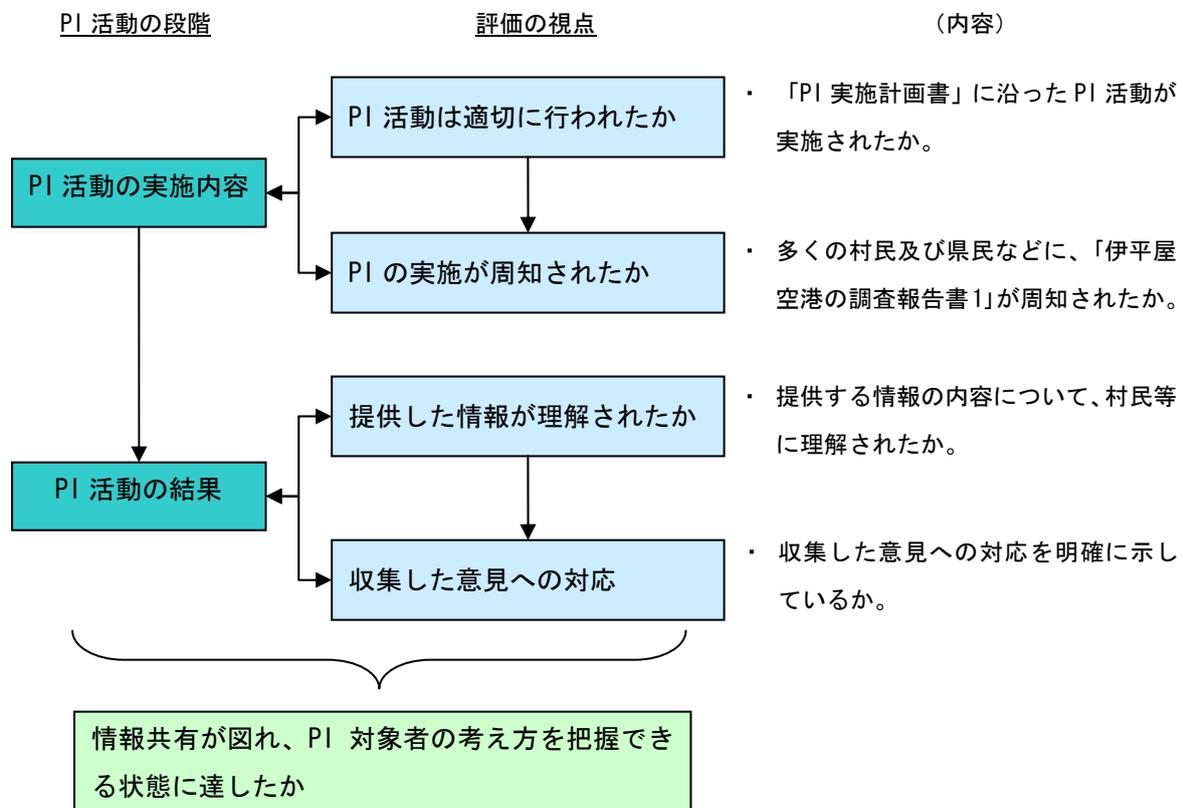
1) 評価の対象

- P I（ステップ1）で実施した、「伊平屋空港の調査報告書1」（以下、「調査報告書」という）に関する周知・広報活動及び情報提供・意見収集活動と、これらの活動を通じて収集した意見への対応について、評価対象とする。

2) 評価の視点

- P I 活動の評価では、「P I 活動の実施内容」、「P I 活動の結果」の2段階に分けて評価することとし、これらの各段階に対応する4つの視点を設定する。
- 具体的には、「P I 活動の実施内容」では、その「適切性」と「情報の周知」を評価し、「P I 活動の結果」では、活動の結果を「情報共有・理解度」、「意見収集」に分けて評価することとする。

図表 5 P I 活動（ステップ1）における評価の視点



3) 評価方法

- P I 活動の評価では、図表 5に示す4つの視点毎に評価を行う。
- 各視点の評価は、図表 6に示す方法により行う。

図表 6 P I 活動（ステップ1）の評価方法

評価の視点	評価方法
1) P I 活動は適切に行われたか	・「P I 実施計画書」と比較し、「計画どおりに活動が実施されたかどうか」（実行性）について評価する。
2) P I の実施が周知されたか	・ P I 活動への村民等の参加状況や周知活動状況を把握し、P I の実施が「多くの村民等に周知されたか」について評価する。
3) 提供した情報が理解されたか	・ 意見収集により得られた情報をもとに、提供した情報に関する村民等の理解度について評価する。
4) 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか	・ 意見を寄せた村民等の構成（参加者の多様性）、寄せられた意見の内容（意見の多様性）を分析し、「幅広い層の村民等から多様な意見を収集できているか」について評価する。 ・ 併せて、寄せられた意見に対して、「対応が示されているか」について評価する。

(2) 活動の評価

1) P I 活動は適切に行われたか

① 活動の結果

- 周知・広報活動については、「P I 実施計画書」に示される内容（行政広報誌への記事掲載、ポスターの掲示、ホームページへの情報掲載）を全て計画どおり実施した。
- 定例記者懇談会において、マスコミ各社へP Iの実施についての説明を行った。
- 地元説明会開催に関する周知活動として、地元関係団体への書面による事前通知及び村防災無線による案内放送を実施した。
- 情報提供活動については、「P I 実施計画書」に示される内容（調査報告書の配布、パネル展示、ホームページへの情報掲載、説明会の実施）を全て計画どおり実施した。
- 情報提供活動の「調査報告書」の配布においては、県庁や村役場等の主要な行政施設及び交通結節点である港ターミナルで配布するなど、配布場所（図表 7を参照）に配慮し、多くの伊平屋・伊是名村民及び沖縄県民等に幅広く行き渡るようにした。
- 情報提供活動の「調査報告書」の配布は、伊平屋村、伊是名村の全住戸に対し個別に行った。
- 情報提供活動の説明会の実施においては、開催日時について、旧盆期間及び両村の主な行事との重複は避け、両村への帰省者が集中すると考えられる旧盆期間が終了した後の日に設定する等の配慮を行い、極力多くの村民が参加できるようにした。（当初 8/9、8/10を予定したが、台風の影響により、8/14、8/15に実施した。）
- 意見収集活動については、「P I 実施計画書」に示される内容（ハガキによる収集、ホームページによる収集）を全て計画どおり実施した。

② 評価

- 「P I 実施計画書」で予定した活動はすべて実施できている。
- 「P I 実施計画書」で予定した活動に加え、マスコミへの情報提供など、周知に有効な活動を積極的に追加実施している。
- P I 活動の実施において、周知・広報、情報提供・意見収集が有効に行える手法が検討され、実行されている。

図表 7 周知・広報、情報提供実施対象（ポスター掲示、調査報告書の配布）

沖縄県	空港課(随時配布)
	行政情報センター
	県民ホール
	行政情報センター北部閲覧室
	宮古行政情報コーナー
	八重山行政情報コーナー
	土木建築部各課
	企画部交通政策課
	北部土木事務所
伊平屋村	役場(随時配布)
	前泊港ターミナル
	運天港 伊平屋発券所
	伊平屋村商工会
	JA伊平屋支店
	伊平屋村漁業協同組合
	伊平屋村 字田名区
	〃 字前泊区
	〃 字我喜屋区
	〃 字島尻区
	〃 字野甫区
	伊平屋村青年団協議会
	伊平屋村婦人連合会
	伊平屋村老人クラブ連合会
	伊平屋村郷友会
	伊平屋空港建設促進委員会
	伊平屋空港設置推進期成会(在那覇)
伊是名村	役場(随時配布)
	仲田港ターミナル
	運天港 伊是名発券所
	JAIげな支店
	伊是名漁業共同組合
	伊是名村商工会
	伊是名村 字伊是名区
	〃 字仲田区
	〃 字諸見区
	〃 字内花区
	〃 字勢理客区
	伊是名村青年団協議会
	伊是名村老人クラブ連合会
伊是名村郷友会	
那覇市	市役所1階ロビー
名護市	市役所1階市民ホール
浦添市	市役所1階市民ホール

2) P I の実施が周知されたか

① 活動の結果

- P I 実施期間中に、行政機関の公共施設や説明会会場での配布等により、「調査報告書」が3,477部受け取られた。特に、伊平屋村及び伊是名村においては全住戸で「調査報告書」が受け取られた。
- 伊平屋村及び伊是名村で開催した説明会には合わせて81人が参加した。
- 伊平屋村、伊是名村及び沖縄県内の7ヶ所（延べ35日間）においてパネル展示会により情報が周知された。
- 新聞（2紙）及びテレビのニュース（同日の夕方と夜の2回）において取り上げられた。
- アンケート収集件数は362件であり、そのうち、自由意見回答者数は237名（意見数：318件）であった。
- 得られたアンケート結果から、情報を提供できた方々の構成を分析した結果は以下のとおりであった。（図表 8参照）
 - [性別] 回答者のうち男性が49%、女性が31%、無回答が20%であった。
 - [年齢] 30歳代、40歳及び50歳台が概ね20%ずつを占め、20歳代も13%程度であり、回答者の年齢層について、大きな偏りはなかった。
 - [職業] 公務員、会社員、農林水産業、専業主婦がそれぞれ10%～20%を占め、回答者の職業についても大きな偏りはなかった。
 - [居住地] 伊平屋・伊是名村の居住者が全体の約7割を占める。その他、全体の約2割が沖縄県内他地域の居住者であり、県外者は1.4%であった。

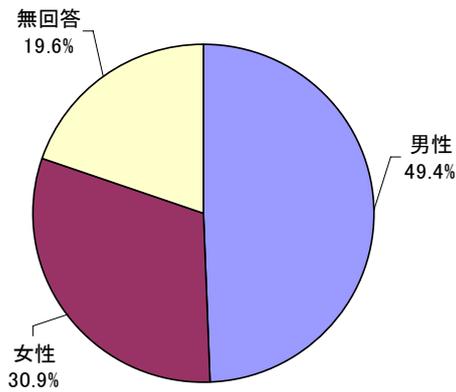
② 評価

- 「調査報告書」の配付及び説明会を通じて、伊平屋・伊是名村民及び沖縄県内外の3千人を超える方々に対しP I の実施について周知されている。
- この他、パネル展示会（7ヶ所、延べ35日間）及びホームページ（沖縄県空港課、伊平屋村、伊是名村）を通じて、P I の実施が周知されている。
- 伊平屋、伊是名村民を中心として、性別、年齢及び職業に偏りなく、幅広い層の方々にP I の実施が周知されている。（図表 8参照）

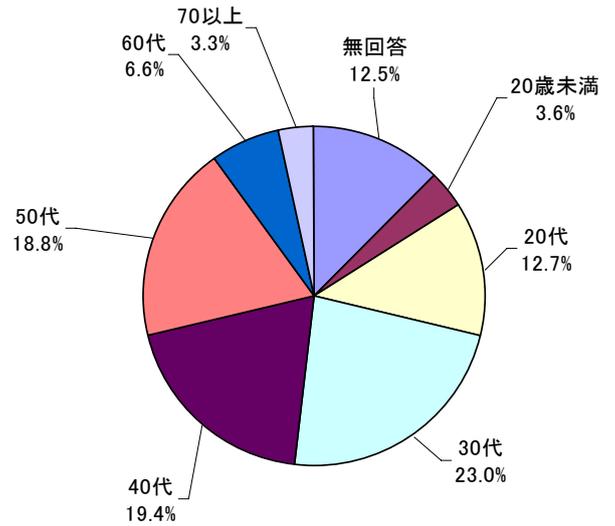
図表 8 情報提供対象者（アンケート回答者）の内訳の概要

※) 調査報告書入手した村民等を対象に実施したアンケート結果（回答者数362名）より分析

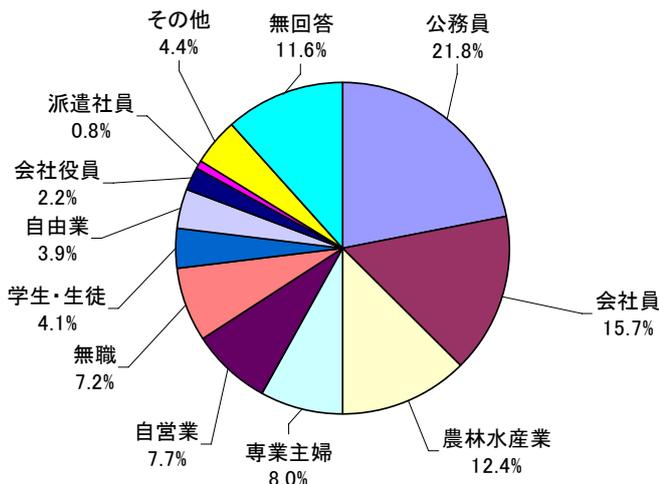
性別



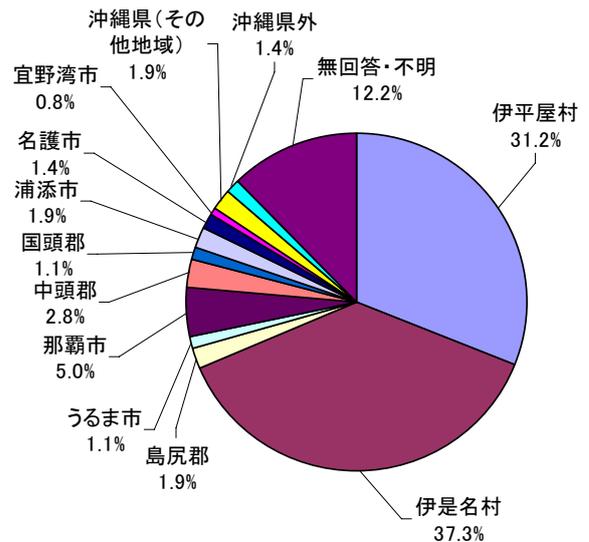
年齢



職業



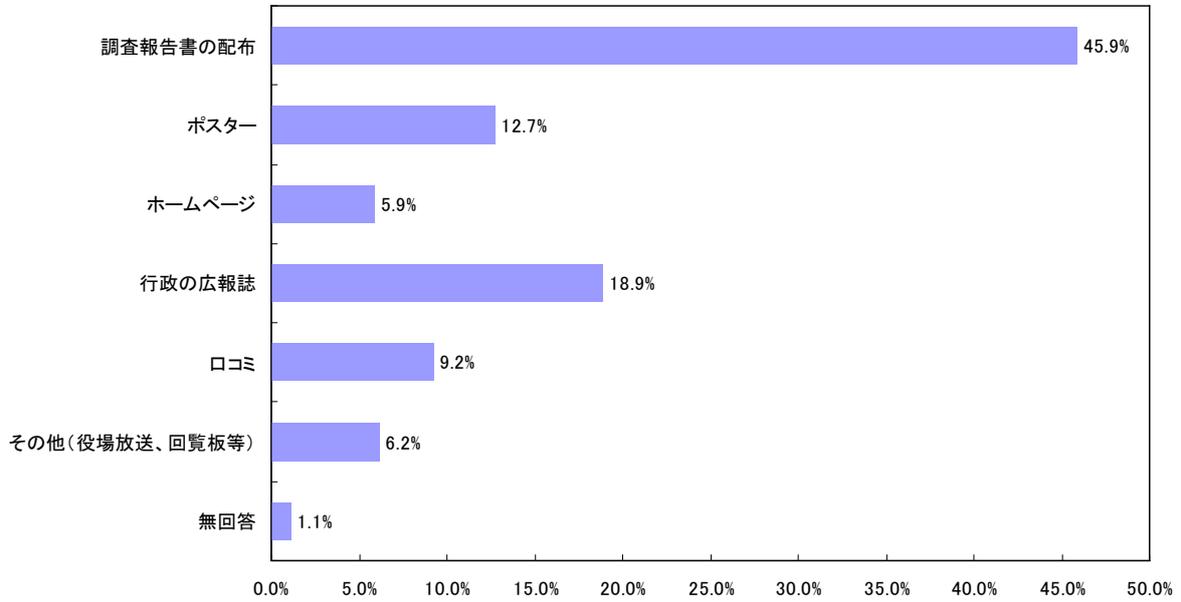
居住地



図表 9 P I 参加者等が P I 活動の開始を知った情報メディア（複数回答可）

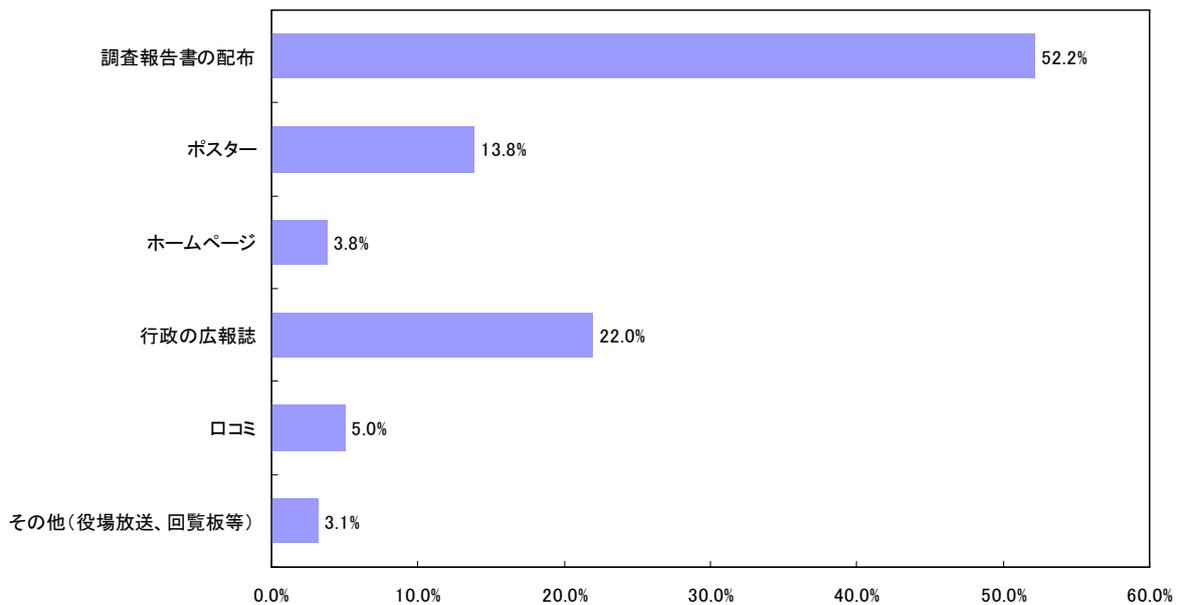
※) 調査報告書を入手した村民等を対象に実施したアンケート結果（回答者数362名）より分析

（全体）



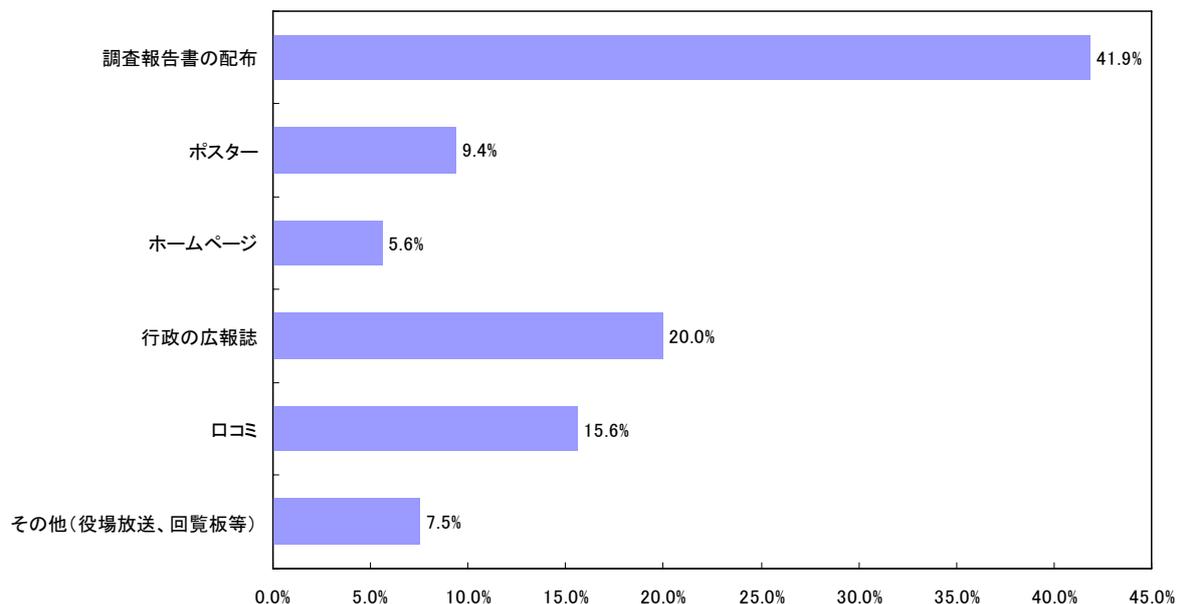
（回答者数：362、回答数：455）

（伊平屋村居住者）



（回答者数：113、回答数：159）

(伊是名村居住者)



(回答者数：135、回答数：160)

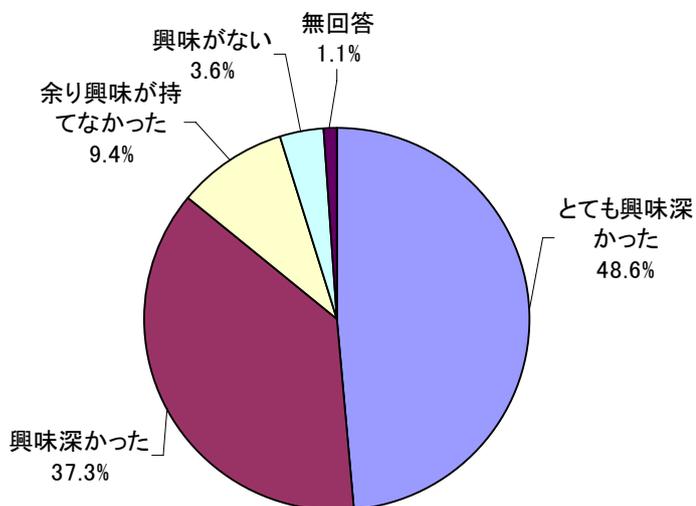
3) 提供した情報が理解されたか

① 活動の結果

- 「調査報告書」に対する印象については、「とても興味深かった」、「興味深かった」と回答した人の比率の合計が8割を超えた。
- 「調査報告書」の内容の理解度については、アンケート調査の結果、「航空旅客数の予測について」の項目を除く全ての項目において、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人の比率の合計が、概ね9割程度であった。
- 「航空旅客数の予測について」に関する理解度については、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人の比率が約8割であった。
- 伊平屋村及び伊是名村居住者の「調査報告書」の内容の理解度については、ほぼ全体と同様の結果であった。

図表 10 「調査報告書」に対する印象

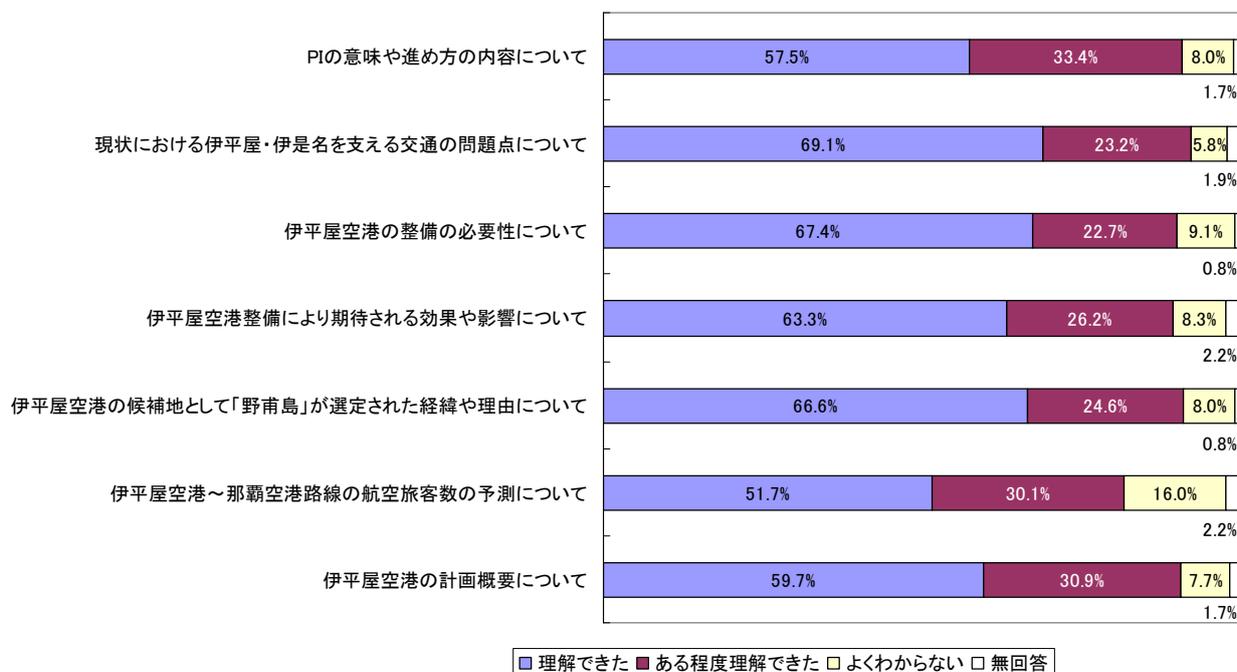
※) 調査報告書を入手した村民等を対象に実施したアンケート結果（回答者数362名）より分析



図表 11 提供した情報に関する理解度

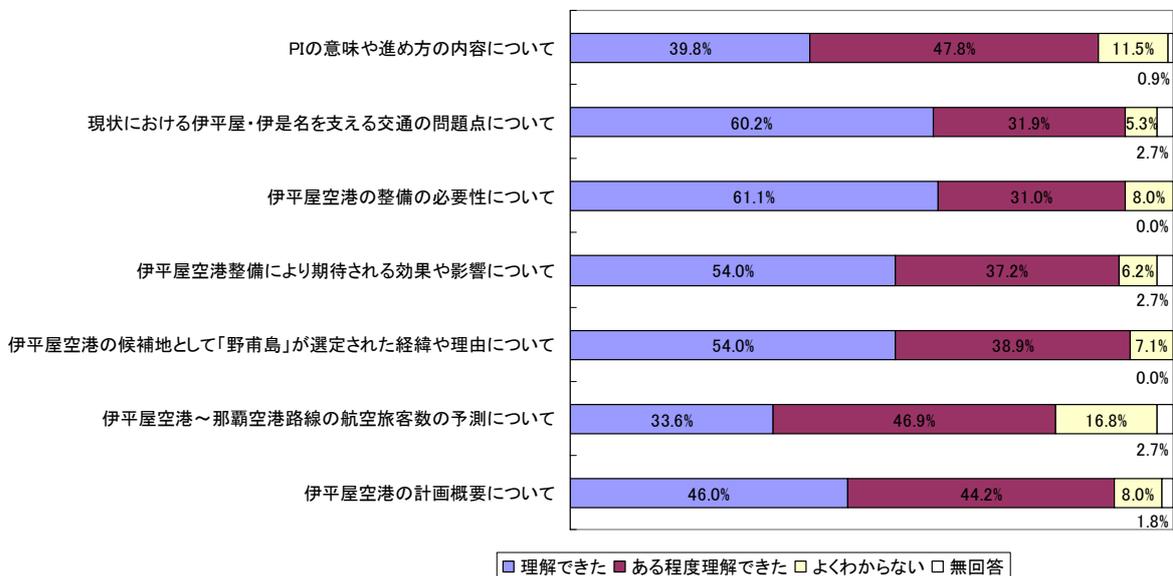
(全体)

※) 調査報告書を入手した村民等を対象に実施したアンケート結果（回答者数362名）より分析



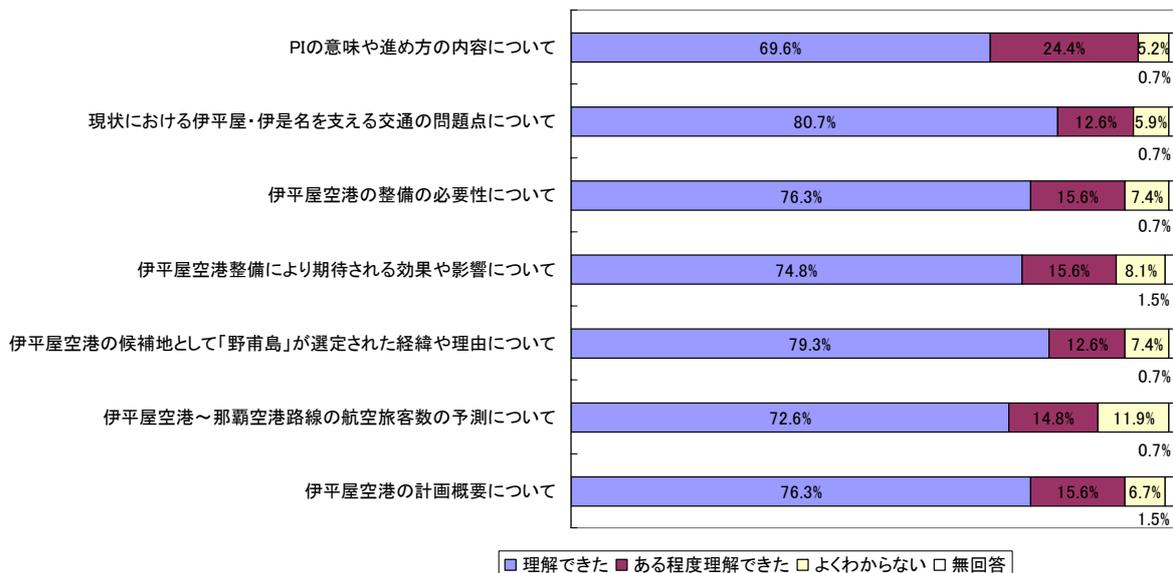
(伊平屋村居住者)

※) 調査報告書を入手した村民等を対象に実施したアンケート結果 (回答者数113名) より分析



(伊是名村居住者)

※) 調査報告書を入手した村民等を対象に実施したアンケート結果 (回答者数135名) より分析



② 評価

- 性別、年齢、職業に偏りなく、幅広い層から回答が得られている。（図表 8を参照）
- 回答者の居住地別では、「P I実施計画書」において基本方針とした伊平屋・伊是名の両村民の参加を積極的に促すという基本方針どおり、両村民の回答者数が全体の約7割を占めている。
- これらの回答者の8割以上が、「調査報告書」の全ての項目について「理解できた」または「ある程度理解できた」と回答している。
- 伊平屋村及び伊是名村に居住する回答者についても、8割以上が、「調査報告書」の全ての項目について「理解できた」または「ある程度理解できた」と回答している。
- この結果から、P I活動を通じて提供した情報を受け取った村民等の間で、「調査報告書」に示されたステップ1で共有すべき情報に対して概ね理解が得られたものと考ええる。

4) 幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか

① 活動の結果

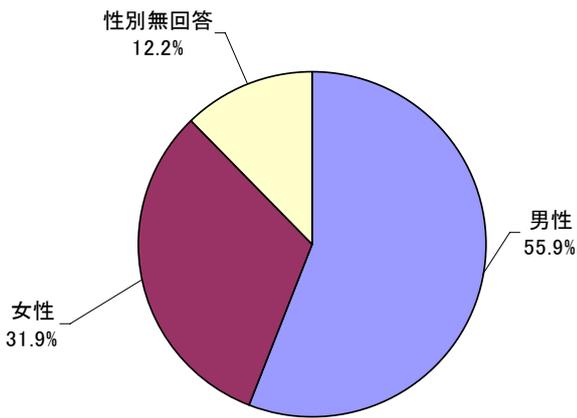
○自由回答欄に意見を寄せた村民等

- 全回答者（362人）のうち、237人（全体の65%）の村民等から自由解答欄に意見が寄せられた。
- 回答者の構成は次のとおりであった。（図表 12参照）
 - [性別] 回答者の55.9%を男性が占め、性別では男性の比率が高い。
 - [年齢] 30歳代が最も多く27%を占める。40歳及び50歳台が概ね20%程度ずつを占め、20歳代も14%程度占めている。各年齢層から、大きな偏りなく意見が寄せられた。
 - [職業] 公務員、会社員、農林水産業、専業主婦がそれぞれ10%～20%を占める。自営業の比率も10%に近く、職業に偏りなく意見が寄せられた。
 - [居住地] 伊平屋・伊是名村の居住者が全体の約7割を占める。特に伊是名村民の占める割合が46.4%と高くなっている。その他、全体の約2割を沖縄県内他地域の居住者が占め、県外者は2%程度であった。伊平屋・伊是名両村を中心に、県内の広範な地域の居住者から回答が得られた。

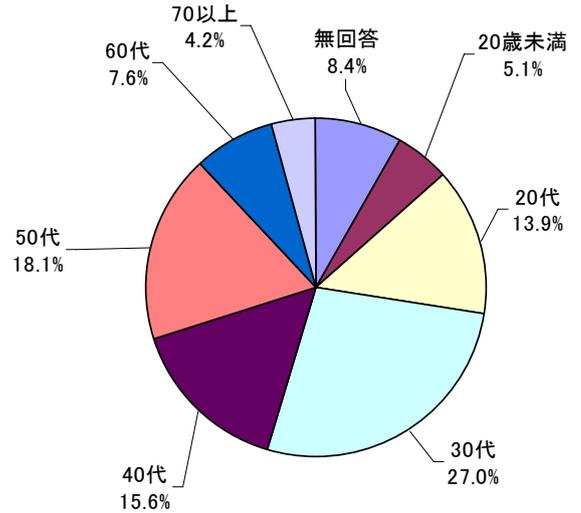
図表 12 自由解答欄回答者の内訳

※) 自由解答欄に回答した村民等のアンケート結果 (回答者数237名) より分析

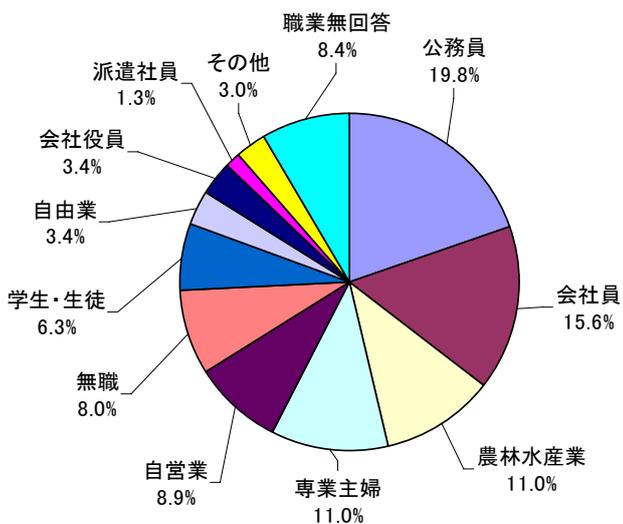
性別



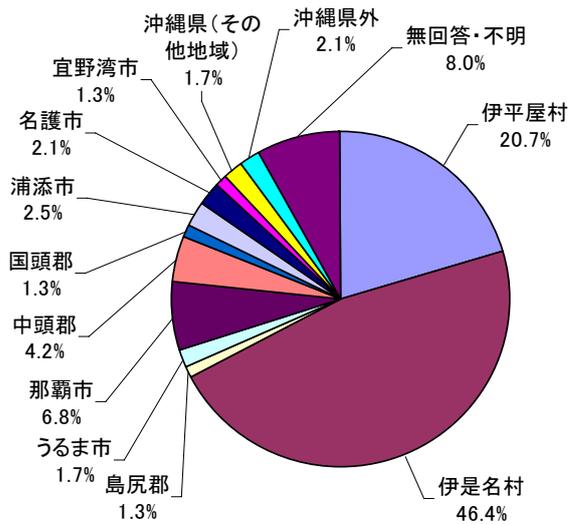
年齢



職業



居住地

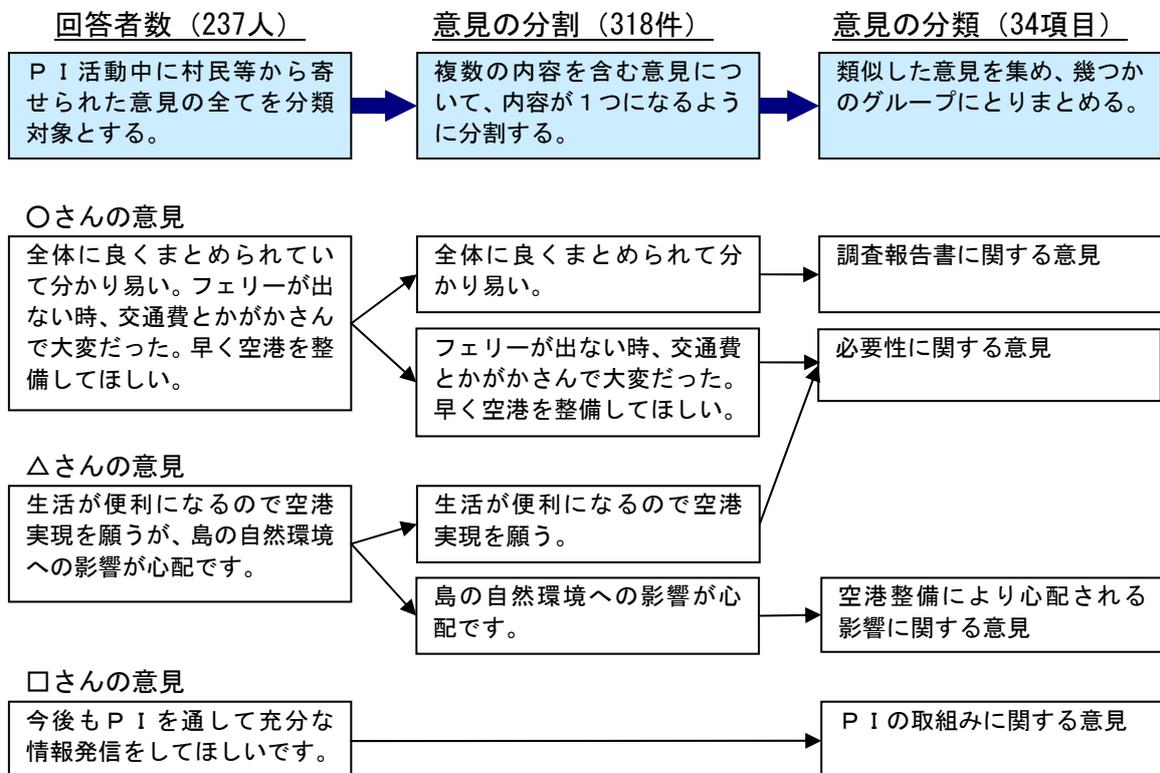


○寄せられた意見の内容

- アンケートで自由回答欄に回答された方々（237名）の意見を、その内容により分割した結果、意見の総数は318件[※]であった。
- これらの意見の全てについて、図表 13に示す手順で分類したところ、以下の7つに分類でき、意見の内容に基づき、さらに34項目に分割された。
 - ①PIの取り組みに関する意見、②空港整備の必要性に関する意見、
 - ③空港整備による効果や影響に関する意見、④空港の候補地に関する意見、
 - ⑤需要予測に関する意見、⑥空港計画に関する意見、⑦その他の意見、要望
- 自由解答欄に寄せられた意見の分類に基づく割合は、図表 14のようになった。空港整備の必要性に関する意見が最も多く全体の49%を占めている。次いで空港整備による効果や影響に関する意見が21%、PIの取り組みに関する意見及び需要予測に関する意見がそれぞれ10%程度となっている。

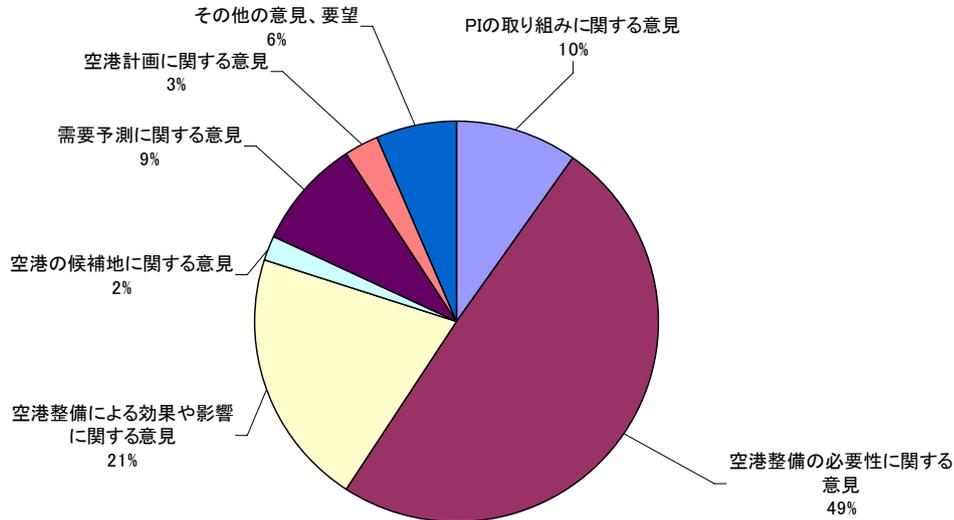
※ 複数の意見を寄せた村民等がいるため、意見を寄せた村民等の人数と一致しない。

図表 13 寄せられた意見の分類方法（イメージ）



図表 14 寄せられた意見の分類に基づく割合

※) 自由解答欄に回答した村民等のアンケート結果（意見数318件）より分析



○寄せられた意見への対応

- 寄せられた意見への対応を検討し、この結果を提示した。（図表 15参照）

② 評価

- 性別、年齢、職業に偏りなく、幅広い層から意見が寄せられている。（図表 12を参照）
- 回答者の居住地別では、「PI実施計画書」において基本方針とした伊平屋・伊是名の両村民の参加を積極的に促すという基本方針どおり、両村民からの意見が全体の約7割を占めている。
- これらの村民等から寄せられた意見の内容は、ステップ1で提供した「調査報告書」に関するものもとより、今後の事業の進め方についての要望事項など多岐にわたっており、多様な意見が寄せられた。
- 各意見には個別に回答しなかったものの、全ての意見の理解に努めた後、分類された意見内容への対応を検討、提示している。

図表 15 寄せられた意見と意見への対応

意見総数:318件

意見			意見に対する対応
分類	件数	意見の内容	
PIの取り組みに関する意見	31件 (10%)		
	件数内訳		
	18件 (9) (9)	調査報告書に関する意見 ・ 分かりやすかったという意見 ・ もっと内容を充実すべきであったという意見	今後、調査報告書等により情報提供を行う場合においては、必要な情報をわかりやすく取りまとめるようにつとめて参ります。
13件 (8) (5)	PIの進め方に関する意見 ・ PIを通して十分な情報発信、説明を求める意見 ・ 幅広く意見を取り入れ、十分な検討を要望する意見	今後、PI(ステップ2)を実施する場合においては、頂いたご意見を踏まえ十分な情報提供及び意見収集に努めて参ります。	
空港整備の必要性に関する意見	157件 (49%)		
	件数内訳		
	132件 (57) (67) (8)	空港整備が必要又は賛成という意見 ・ 空港整備が必要又は賛成という意見(具体的な理由の記述なし) ・ 利便性の向上など生活環境の面から空港整備が必要という意見 ・ 病気のときなどに早く確実な交通手段として必要という意見	伊平屋・伊是名地域における島外への交通手段は、本島北部の運天港に就航するフェリーが利用されており、過去の旅客アンケートでは、利用者の約7割が本島中南部を目的地・出発地としているという結果が得られています。 しかし現状では那覇までの移動に陸上の移動時間も含めて約4時間を要することや、荒天によるフェリーの欠航が多いため、住民生活や経済活動を行う上で大きな支障となっています。 このような状況を改善し、民生の安定向上及び観光産業等の地域振興を図るため、伊平屋空港の整備は必要であると考えております。
	20件 (9) (6) (3) (2)	空港整備は不要又は反対という意見 ・ 現状のままで充分という意見 ・ 伊平屋地域の利益のためだけに財政負担をする空港整備には反対という意見 ・ 緊急時はヘリコプターで対応すればよいという意見 ・ 他の整備(トンネル、セスナ機用飛行場)がよいという意見	また、予測される需要の規模から、小型機やヘリコプターではなく、数十名乗りの航空機の就航が可能な規模の空港整備が必要であると考えております。 今後、PI(ステップ2)を実施する場合においては、費用対効果の分析等、空港計画の妥当性について情報提供していく予定であります。
	5件 (3) (2)	必要性について疑問又は今後も十分な検討が必要という意見 ・ 必要性は疑問という意見 ・ 必要性について今後も十分な検討が必要という意見	
空港整備による効果や影響に関する意見	66件 (21%)		
	件数内訳		
	40件 (25) (15)	空港整備による効果を期待する意見 ・ 地域の活性化や交流促進を期待する意見 ・ 地域産業の振興や発展を期待する意見	過去に実施されたアンケート調査等において、地域の活性化や利便性の向上等、空港整備による効果を期待する声が寄せられています。 今後、PI(ステップ2)を実施する場合においては、費用対効果分析、空港計画の妥当性等について情報提供していく予定であります。
	12件 (7) (2) (3)	空港整備による効果を疑問視する意見 ・ 利用者の居住地や目的地によっては利便性の向上効果が得られないという意見 ・ 費用対効果が十分に得られないのではないかと ・ 空港整備だけで地域が活性化するとは考えられないという意見	船舶の利用者に対して実施したアンケートでは、利用者の約7割が本島中南部を目的地・出発地としているという結果が得られており、航空による旅客輸送は、利用者の利便性向上に繋がるものと考えております。 費用対効果については、今後、PI(ステップ2)を実施する場合において、情報提供して参ります。 空港の整備は、地域の交通アクセスが改善され交流機会の増加が可能となることから、結果として、地域の活性化に繋がっていくものと考えております。また、地域活性化の施策と併せて、空港利活用の促進を図っていくことが重要であると考えております。
14件 (11) (3)	空港整備による影響を心配する意見 ・ 自然環境への影響を心配する意見 ・ 村営フェリーの経営悪化を心配する意見	今後、空港計画を進める場合においては、地元のご意見も聞きながら、環境に十分に配慮し検討を進めて参ります。 今後、空港計画を進める場合においては、航空・船舶の交通機関の効率的な運航について、総合的に検討してまいります。	

意見			意見に対する対応
分類	件数	意見の内容	
空港の候補地に関する意見	7件 (2%)		
	件数内訳		
	6件	野甫島案に関する意見 (1) ・ 候補地として最良であるという意見 (4) ・ 選定経緯、理由をもっと詳細に知りたいという意見	伊平屋島は、狭小な地域に賀陽山(標高294m)等の標高200m以上の山岳が連なっており、急峻な地形が大部分を占めております。また、限られた平地部は、集落や主要産業である農業の用地として利用されています。一方野甫島は、高い場所でも標高40メートル程度で、比較的なだらかな丘陵地となっており、伊平屋島とは橋梁で繋がっています。 伊平屋空港の候補地は、このような地形特性や土地利用状況、航空機の安全運航の観点から選出した前泊地先、島尻地先、野甫島の3案について空港へのアクセス、工事土量、概算工事費、自然環境等の条件を比較検討した結果、総合的に優位である野甫島を候補地としたものであります。
	(1)	・ 伊是名村利用者にとって不便であるという意見	野甫島は、伊是名島からも近い位置にあるため、今後空港計画を進める場合は、伊是名村からの利用者の利便性向上方策について検討して参ります。
1件	他の候補地を提案する意見 (1) ・ 伊是名の場外離着陸場を改良整備すべきであるという意見	伊是名場外離着陸場につきましては、その上空が米軍の訓練空域に設定されており、民間航空機の飛行が制限されています。このような状況から、伊是名場外離着陸場では他の空港で通常行われている定期運航は困難なため、現状では県管理空港として整備することは困難であると考えております。	
需要予測に関する意見	28件 (9%)		
	件数内訳		
	9件	航空運賃の設定や採算性に関する意見 (2) ・ 航空運賃の設定根拠について知りたいという意見 (7) ・ 航空会社の採算性について不安又は知りたいという意見	航空需要予測で設定した運賃は、県内で実際に就航している離島航空路線の運賃を参考に設定しております。
	19件	予測結果に関する意見 (1) ・ 予測結果は過小ではないかという意見 (8) ・ 予測結果は過大ではないかという意見 (2) ・ 伊是名からの旅客数が過大ではないかという意見 (8) ・ 予測根拠についてさらに詳細に知りたいという意見	航空需要予測は、船舶旅客に対するアンケートや、他の離島で運航されている船舶・航空の移動時間、運賃、旅客実績等の事例を参考にしており、伊平屋・伊是名両村からの旅客移動を対象として予測しております。
空港計画に関する意見	9件 (3%)		
	件数内訳		
	4件	計画内容をもっと詳細に知りたいという意見	計画内容については、PI(ステップ2)を実施する場合において、情報提供して参ります。
5件	伊平屋・伊是名両村間の架橋整備等のアクセス利便性向上を要望する意見	両村間のアクセス向上策については、今後、陸上・海上の交通に関する施策について、各方面と調整を図ってまいります。	
その他の意見、要望	20件 (6%)		
	件数内訳		
	9件	地元及び利用者負担の軽減と利用促進方を要望する意見	いただいたご意見を踏まえ、今後計画を進める場合においては、空港利用の促進及び効率的な運航の実施について検討してまいります。
11件	その他		

(3) まとめ

1) 視点毎のPI活動の評価

評価の視点	評価
①PI活動は適切に行われたか	<ul style="list-style-type: none"> ● 「PI実施計画書」で予定した活動は、全て計画どおり実施できている。 ● 「PI実施計画書」で予定した計画に加え、マスコミへの情報提供など、周知に有効な活動を積極的に追加実施している。 ● PI活動の実施において、周知・広報、情報提供・意見収集が有効に行える手法が検討され、実行されている。
②PIの実施が周知されたか	<ul style="list-style-type: none"> ● 「調査報告書」の配付及び説明会を通じて、伊平屋・伊是名村民及び沖縄県内外の3千人を超える方々に対しPIの実施について周知されている。 ● パネル展示会(7ヶ所、延べ35日間)及びホームページ(沖縄県空港課、伊平屋村、伊是名村)を通じて、PIの実施が周知されている。 ● 伊平屋、伊是名村民を中心として、性別、年齢及び職業に偏りなく、幅広い層の方々に周知されている。
③提供した情報が理解されたか	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊平屋・伊是名村民を中心として、性別、年齢、職業に偏りなく、幅広い層から回答が得られ、回答者(362人)の8割以上が、「調査報告書」の全ての項目について「理解できた」または「ある程度理解できた」と回答している。 ● この結果から、「調査報告書」に示されたステップ1で共有すべき情報に対して概ね理解が得られたものとする。
④幅広く意見を収集し、それらへの対応を示しているか	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊平屋・伊是名村民を中心として、性別、年齢、職業に偏りなく、幅広い層から意見が寄せられ、意見の内容は多岐にわたっている。 ● 全ての意見を内容別に分類した上で、各項目毎に意見に対する対応を提示している。

2) PI活動の総合評価

<ul style="list-style-type: none"> ● 「PI実施計画書」に基づくPI活動の実施と、新聞等を活用した周知・広報活動の強化に努めた結果、「調査報告書」に関し、伊平屋・伊是名村民を中心とする幅広いPI対象者の理解が概ね得られたと考える。 ● 寄せられた意見について、これらへの対応を明確に示すことができたと考える。 ● 以上から、「PI実施計画書」に示した、PI(ステップ1)の目標「伊平屋空港の整備の必要性等に係る情報を共有し、PI対象者の考え方を把握できる状態に達すること」は達成できたと考える。
--

3) 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> ● PI活動に関する周知においては、「調査報告書」の配布、行政広報誌への掲載、ポスターの掲示の順で周知効果が高く、ステップ2においてはこのことに留意し、さらに有効な周知活動に努める。 ● PI(ステップ2)では、空港整備計画や費用対効果など、専門的な内容について意見収集を行うことから、PI対象者の理解度が深まるよう、よりわかりやすい情報提供に努める。

沖縄・伊是名村 **広 報** 歴史の島 自然の宝庫 ハブのいい伊是名島

平成18年7月号
No.426号

編集：伊是名村振興課/広報編集委員会 沖縄県伊是名村字中田122番地 TEL:0980-45-2001 FAX:0980-45-2467 印刷：元は印刷株式会社
村のホームページ http://www.izen-otinae.jp



「きょうは楽しいみんなの運動会」
～ 保育所運動会 ～

今月の主な内容

- 保育所運動会
- 各区区長紹介
- チデン園で15周年記念式典
- 保健センターだより

	伊是名	仲田	眞直	内花	新理家	計	増減
男	199	227	219	114	110	869	▲1
女	200	239	232	93	97	861	▲4
計	399	466	451	207	207	1,631	▲5
出生数	175	238	244	81	88	826	▲1

村の人口 計 1,829人 平成18年7月現在



中学校でプール開き

5月24日から延期になっていた中学校のプール開きが6月16日に行われた。教育長、中学校校長他関係者による安全祈願祭を行い中学3年生が初泳ぎ。これから幼・小・中学校と持ちに持った本泳の時間が始まる。

伊平屋空港のパブリック・インボルブメント (PI) 伊平屋空港の整備に関するご意見を募集いたします

空港整備は伊平屋村・伊是名島の活性化に向けて実現すべき重要な課題です。両村は本土復帰直時から沖縄県等に対し空港整備に向けた要請活動を行ってきました。また沖縄県は離島における生活利便性の向上と観光や産業振興の観点から、同地域における空港整備の検討を行ってきましたが、それまでの経緯や両村との話し合いにより、伊平屋村野洲高を候補地として検討を進めることとなりました。伊平屋空港協議会(沖縄県・伊平屋村・伊是名村)では、伊平屋空港の整備にあたってパブリック・インボルブメント(PI)手法を導入し、計画段階から両村民を中心とする関係者の方々積極的に情報を提供し、皆様のご意見を伺いながら検討を進めることとしております。是非、これからご提供していく伊平屋空港の整備に関する情報について、皆様のご意見をお寄せください。

情報のご提供、意見募集は8月初旬から開始する予定です

ご提供する情報の内容(予定)	
提供情報の項目	提供情報の技術的内容等
「空港整備の必要性」に関する情報	伊平屋・伊是名地域と那覇が航空で結ばれることで、どの程度の時間短縮が図れるか、また、期待される効果はどのようなものがあるかなど、空港整備の必要性を判断する上で必要な情報をご提供します。
「候補地」に関する情報	いつから空港整備に対する要望があったのか、候補地はどのように選定されたのか、空港とはどんな施設なのか、などに関する情報をご提供します。

情報のご提供と意見募集の方法

ご提供する情報の内容について記載したパンフレットを皆様にお配りします。また、これらの資料は伊平屋村、伊是名村の役場等にも備え置きますのでご自由に入手いただけます。お子元に届いた資料をお読みいただき、その内容に関するご意見を資料に添付する回答用ハガキ(予定)にご記入ください。ご記入いただいたハガキは、各所に設置される専用のご意見箱へ投函するか直接ご郵送ください。また、情報のご提供・意見募集開始に合わせて開設予定の伊平屋空港ホームページ(仮称)からもご意見を募集いたします

みんなの意見を聞きながら、伊平屋空港の計画を決めていくんだね。



その他の確し

情報のご提供と意見募集期間中には、伊平屋・伊是名村の方々や関係する方々に対して、ご提供する情報の内容に関する説明会を開催いたします。

また、村役場や港のターミナルでのパネル掲示なども予定していますので、これらの催しへも是非、ご参加ください。

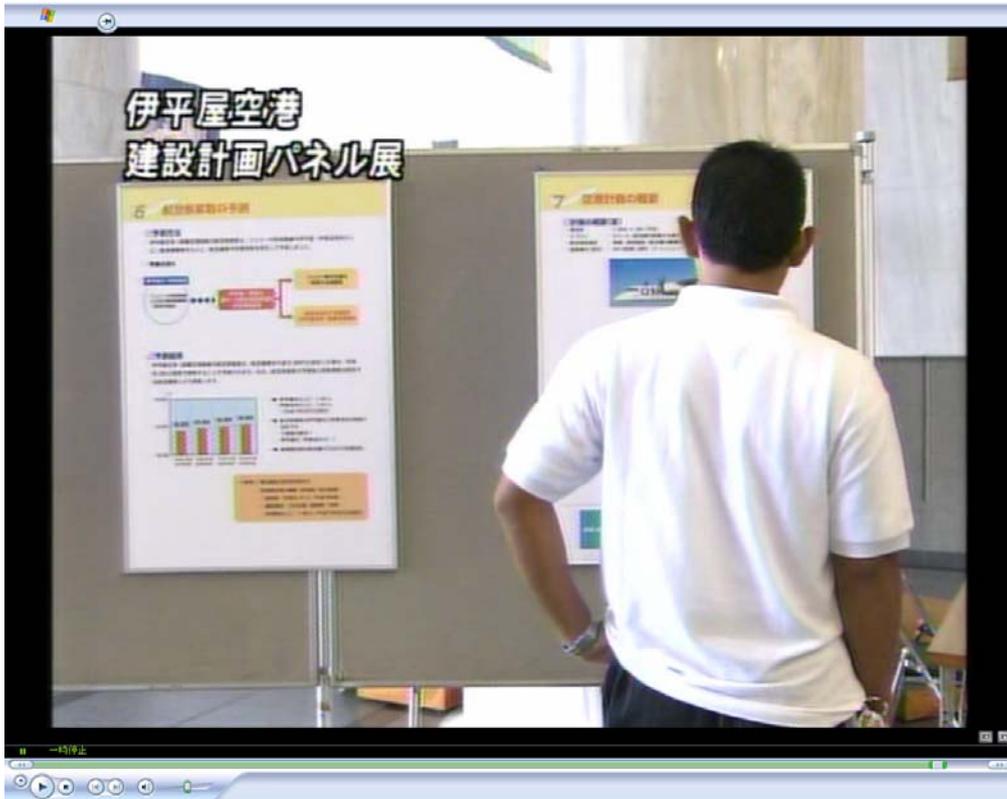
伊平屋空港協議会

【沖縄県・伊平屋村・伊是名村】
パブリック・インボルブメントとは
(Public Involvement)

「市民や市民団体の参加を促し、行政機関との共同意思決定を促進する過程で地元住民の意見を聞き取り、計画決定に活かしていくことです。」

(3) テレビ放送

NHKニュース（同日朝夕2回）



(4) ポスター掲示

掲 示 箇 所	掲示：124 枚	沖縄県、伊平屋・伊是名村等の公共施設：70 枚
		港のターミナル等公共施設：12 枚
		地元関係団体施設等：32 枚
		説明会会場：5 枚
		航空会社：5 枚

伊平屋空港

パブリック・インボルブメント (ステップ1)

■伊平屋空港の調査報告書1：8月1日（火）より配布

- どうして伊平屋空港が必要なの？
- 空港ができると、どんな効果が期待できるの？
- 伊平屋空港の候補地選定の経緯や空港計画の概要などをまとめました。

【資料配布場所】 ホームページからもご覧になります。

- 沖縄県庁、伊平屋村および伊是名村役場窓口
- 運天港（伊平屋発券所・伊是名発券所）
- 前泊港（伊平屋村）ターミナル
- 仲田港（伊是名村）ターミナル その他

■ご意見をお寄せください：8月1日（火）から8月31日（木）まで

「伊平屋空港の調査報告書1」に関するご意見を、資料に添付する回答用ハガキにご記入いただき、専用のご意見箱が最寄りのポストに投函してください。ホームページからもご意見をお寄せいただくことができます

■スケジュール（予定）

説明会		
8月 9日（水）	午後7時より	伊平屋村離島振興総合センター
8月10日（木）	午後7時より	伊是名村産業支援センター
パネル展示		
7月31日（月）～8月 4日（金）		沖縄県庁1階県民ホール／運天港 伊是名フェリー発券所
8月 7日（月）～8月11日（金）		前泊港 旅客ターミナル／仲田港 旅客ターミナル
8月14日（月）～8月18日（金）		伊平屋村役場／伊是名村役場
8月21日（月）～8月25日（金）		運天港 伊平屋フェリー発券所

■お問い合わせ先

伊平屋空港協議会（事務局：沖縄県土木建築部空港課）
 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 TEL:098-866-2400 FAX:098-869-6279
 ホームページ <http://www.pref.okinawa.jp/airport/index/> メールアドレス ae063002@pref.okinawa.jp
 沖縄県伊平屋村役場：経済建設課 TEL:0980-46-2176 FAX:0980-46-2606
 ホームページ <http://www.vil.iheya.okinawa.jp/>
 沖縄県伊是名村役場：建設環境課 TEL:0980-45-2004 FAX:0980-45-2144
 ホームページ <http://www.izena-okinawa.jp/>

パブリック・インボルブメントとは (Public Involvement)

「市民参画」または「住民参画」と訳されます。
 公共事業の施策を立案する過程で地元住民などから幅広く意見を聞き、計画決定に活かしていく手法です。

ポスター掲示状況（一部）



＜前泊港＞



＜島尻公民館＞



＜野甫公民館＞



＜我喜屋公民館＞



＜沖縄県庁ホール＞

(5) ホームページへの情報掲載

掲載箇所	掲載期間：平成 18 年 7 月 18 日～	沖縄県土木建築部空港課ホームページ
		伊平屋村ホームページ
		伊是名村ホームページ

伊平屋空港に関する
PI ホームページ

伊平屋空港協議会
[沖縄県・伊平屋村・伊是名村]

HOME

伊平屋空港の
調査報告書1

8月31日まで
ご意見募集
みなさんの考えやご意見

はじめに

伊平屋空港の
整備について

伊平屋空港のPIの
進め方

PI (ステップ1) の
実施について



新着情報

2006年09月01日 [「伊平屋空港の調査報告書1」に関する“ご意見募集”を終了しました。](#)

2006年08月09日 [【説明会延期のお知らせ】8月9・10日に予定の説明会は台風8号接近の為、8月14・15日に変更となりました。](#)

2006年08月01日 [「伊平屋空港の調査報告書1」に関する“ご意見募集”を開始しました。](#)

2006年08月01日 [「伊平屋空港の調査報告書1」を当ホームページに掲載しました。](#)

2006年07月18日 [8月1日から「伊平屋空港の調査報告書1」の配布を開始します。](#)

伊平屋空港の
調査報告書1

8月31日まで
ご意見募集
みなさんの考えやご意見をお聞かせ下さい。

伊平屋空港の整備について

[伊平屋空港の必要性](#) [これまでの主な経緯](#) [計画概要](#)

伊平屋空港のPIの進め方について

[パブリック・インボルブメント\(PI\)とは](#) [PIの目的](#) [PIを行う意義](#) [PIの進め方](#)

PI (ステップ1) の実施について

[PI\(ステップ1\)の位置づけ](#) [実施スケジュール](#) [PI\(ステップ1\)で提供する情報](#)
[情報の入手方法](#) [ご意見をお寄せいただく方法](#)

☰ このページのトップへ

お問い合わせ先

伊平屋空港協議会 (事務局：沖縄県土木建築部空港課)
 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 TEL:098-866-2400 FAX:098-866-6279
 ホームページ：<http://www.pref.okinawa.jp/airport/index/> メールアドレス:aa063002@pref.okinawa.lg.jp

沖縄県伊平屋村役場：経済建設課
 TEL:0980-46-2176 FAX:098-46-2606
 ホームページ：<http://www.vill.iheya.okinawa.jp/>

沖縄県伊是名村役場：建設環境課
 TEL:0980-45-2004 FAX:098-45-2144
 ホームページ：<http://www.izena-okinawa.jp/>

2-2 情報提供・意見収集

(1) 調査報告書の配布

配布場所	配布部数：3,477部	沖縄県、伊平屋・伊是名村等の公共施設：1,267部
		港のターミナル等公共施設：600部
		地元関係団体等：1,522部
		説明会時配布：88部

伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ1）

伊平屋空港の調査報告書1

伊平屋空港協議会
 [沖縄県・伊平屋村・伊是名村]
 パブリック・インボルブメントとは
 (Public Involvement)

「市民参画」または「住民参画」と訳されます。公共事業の施策を立案する過程で地元住民などから幅広く意見を募り、計画決定に活かしていく手法です。

調査報告書の配布状況（一部）



<沖縄県庁ホール>



<仲田港>



<前泊港>



<伊平屋村>

(2) パネル展示

展示場所	7ヶ所 (延べ35日)	沖縄県庁ホール／運天港（伊是名）：平成18年7月31日～8月4日
		前泊港／仲田港：平成18年8月7日～8月11日
		伊平屋村役場／伊是名村役場：平成18年8月14日～8月18日
		運天港（伊平屋）：平成18年8月21日～8月25日



<沖縄県庁ホール>



<前泊港>



<伊是名村>



<伊平屋村>

(3) 説明会

伊平屋村	場所：伊平屋村離島振興総合センター
	日時：平成 18 年 8 月 14 日(月) 19:00~21:00
	参加人数：53 名
伊是名村	場所：伊是名村産業支援センター
	日時：平成 18 年 8 月 15 日(火) 19:00~20:30
	参加人数：28 名

主催者側から「伊平屋空港の調査報告書 1」の内容を説明し、質疑応答を行った。

○主な質疑事項

- ・ 農産物等の生鮮品の航空輸送について
- ・ 空港の早期建設について
- ・ 伊平屋、伊是名両村の協力について
- ・ 需要予測について



<伊平屋村説明会>



<伊是名村説明会>

Ⅲ. 伊平屋空港 PI 評価委員会からの主な評価・助言



平成 18 年 11 月 27 日に開催された伊平屋空港の P I 評価委員会においては、P I（ステップ 1）の実施状況について、概ね妥当であるとの評価をいただきました。

また、今後の P I 活動について以下のような助言をいただきました。

- 寄せられた自由意見は、何らかの形で一般にも見られるようにする必要がある。
- P I 実施報告書の概要版を作成し、伊平屋村・伊是名村の住民に配布する必要がある。
- 各種イベントと組み合わせるなど、多くの方々が P I に参加しやすい期間や時期を検討する必要がある。
- 地元住民主体の組織を結成し、イベントを企画するなど、より多くの住民意見を吸い上げるための取り組みを検討すべき。

以上の P I 評価委員会における助言を踏まえ、寄せられた自由意見の詳細をホームページ及び沖縄県空港課等においてご覧いただけるようにいたしました。また、P I 実施報告書の概要版を地元伊平屋村・伊是名村の住民の皆様などに配布することといたしました。

今後の P I 活動においては、これらの助言を踏まえ、より内容を充実するよう努めて参ります。

・ 委員名簿（敬称略・順不同）

氏 名	所属・役職	備 考
大城 保	沖縄国際大学 経済学部 学部長	委員長
堤 純一郎	琉球大学 工学部 環境建設工学科 教授	
崎山 律子	フリージャーナリスト	

IV. 伊平屋空港 PI (ステップ 1) の終了について



伊平屋空港のパブリック・インボルブメント（ステップ1）については、平成18年8月1日から8月31日までの1か月間にわたり、伊平屋空港の整備の必要性等に係る情報を共有し、P I 対象者（伊平屋・伊是名村民、地元関係団体等）の考え方を把握することを目標とした活動を実施いたしました。

活動の主なものとして、P I 実施期間中、伊平屋・伊是名村民を中心とするP I 対象者に「伊平屋空港の調査報告書1」を約3,500部配布した他、ホームページへの情報掲載、パネル展示会（7ヶ所・延べ35日）及び地元説明会（2回・伊平屋村及び伊是名村）を実施いたしました。

これらの活動の結果、アンケート調査には362人の方からご回答があり、237人の方から様々な意見が寄せられました。

アンケートにご回答いただいた8割以上の方々が、「調査報告書」の全ての項目について「理解できた」または「ある程度理解できた」と回答されました。

また、寄せられたご意見に対しては、全ての意見の理解に努めた後、意見内容への対応を検討し提示いたしました。

これらのことから、伊平屋空港協議会では、P I（ステップ1）の活動の結果について、以下のとおり評価いたしました。

- ・ 「伊平屋空港の調査報告書1」に関し、伊平屋・伊是名村民を中心とする幅広いP I 対象者の理解が概ね得られたと考える。
- ・ 寄せられたご意見への対応を明確に示すことができたと考える。
- ・ 以上から、P I（ステップ1）の目標「伊平屋空港の整備の必要性等に係る情報を共有し、P I 対象者の考え方を把握できる状態に達すること」は達成できたと考える。

また、伊平屋空港のP I 評価委員会からも、今後の活動に活かすべき助言とともに、評価結果について概ね妥当であるとのご意見をいただきました。

以上のことから、伊平屋空港協議会は、伊平屋空港の整備の必要性等に係る情報を共有し、P I 対象者の考え方を把握するという、P I（ステップ1）の目標は達成できたと判断し、P I（ステップ1）を終了することといたします。

平成18年12月26日
伊平屋空港協議会